

横浜環状南線の整備推進について

栄区を通る環状4号線は慢性的に渋滞を起こし混雑が大きな課題となっています。この課題を解消するために横浜環状南線の整備を進めてきましたが、8月5日に令和7年の開通が困難になったと事業者より発表され、その理由や開通時期など詳しい説明がなされておりません。

また、大規模な工事を進めています。現場からの騒音や振動ダンプロックによる安全性への危惧など、長引く工事に対して我慢している沿線住民に対する工事の影響が懸念されます。開通時期が延びるという事は、今後、栄戸塚区間を含む南線全線の事業費が増加するといったことも考えられます。

回答として、8月の時点では開通時期は見通せませんが、今回の発表では事業費が増えることはない、ということでした。工事による影響や原因は様々ですが、できる限り沿線の方々の意見を聞きながら、真摯な対応をしてください、と訴えておきました。



(2022年10月13日 局別審査)

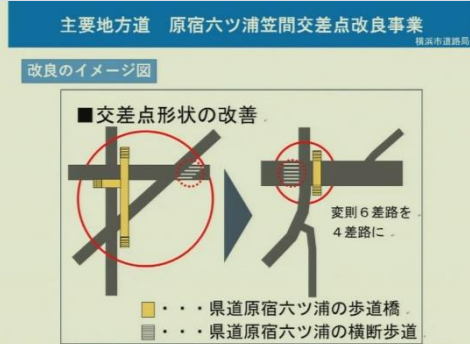
笠間交差点改良事業の推進について

笠間交差点は変則の6差路となっており、交差点が複雑な形状であるため渋滞が発生し、主要渋滞箇所としても特定されております。

道路局では令和3年度から、6差路を4差路にし、歩道橋を架け替えるなど大規模な交差点改良事業を本格的に進めています。

図①の赤く丸印をした交差点部分について、8月に車線の切り替えが行われ、歩道が拡幅整備されるなど長年の渋滞の改善に向けて進められています。

無電柱化や歩道橋の架け替えは緊急車両の通行機能確保や耐震性の向上にするため、早期整備を目指します。また、笠間交差点は、朝夕は特に車両や歩行者が多く、既存の歩道は狭い部分があるため、安全で円滑な工事のための様々な配慮と工夫を行うよう指摘しておきました。



(図① 改良イメージ)

【悦子の編集手帳】

今年3月に「第2期横浜市子どもの貧困対策に関する計画」を策定し、今年度は計画初年度として、教育、福祉、子育て支援等、様々な分野において各取り組みがなされています。

教育分野においては、家庭の状況によって学習機会に格差が生じないように、安心して学校生活を送り、学び続けることができるように各家庭への就学援助等の経済面での支援だけではなく、児童生徒への心のケアなど、あらゆる場面において支援を行っていく必要があります。子どもや家庭が抱える課題は、より複雑化・困難化しており**全ての子どもたちが明るい未来を感じ**ることができる横浜の実現を目指します。



長谷川えつこ政務活動事務所

☎ 247-0009

横浜市栄区鍛冶ヶ谷2丁目1-2 セントレージビル101

e-mail : e-hasegawa@e-linksvc.com

皆さまの市政に対するご意見・ご要望を、下記連絡先までお気軽にお聞かせください。お待ちしております。

TEL : 045-390-0601 FAX : 045-392-5411

オフィシャルサイト : <https://e-linksvc.com/etsuko.hasegawa/>